

行動する知性。



「働き方改革」の背景と行方 (富山県)

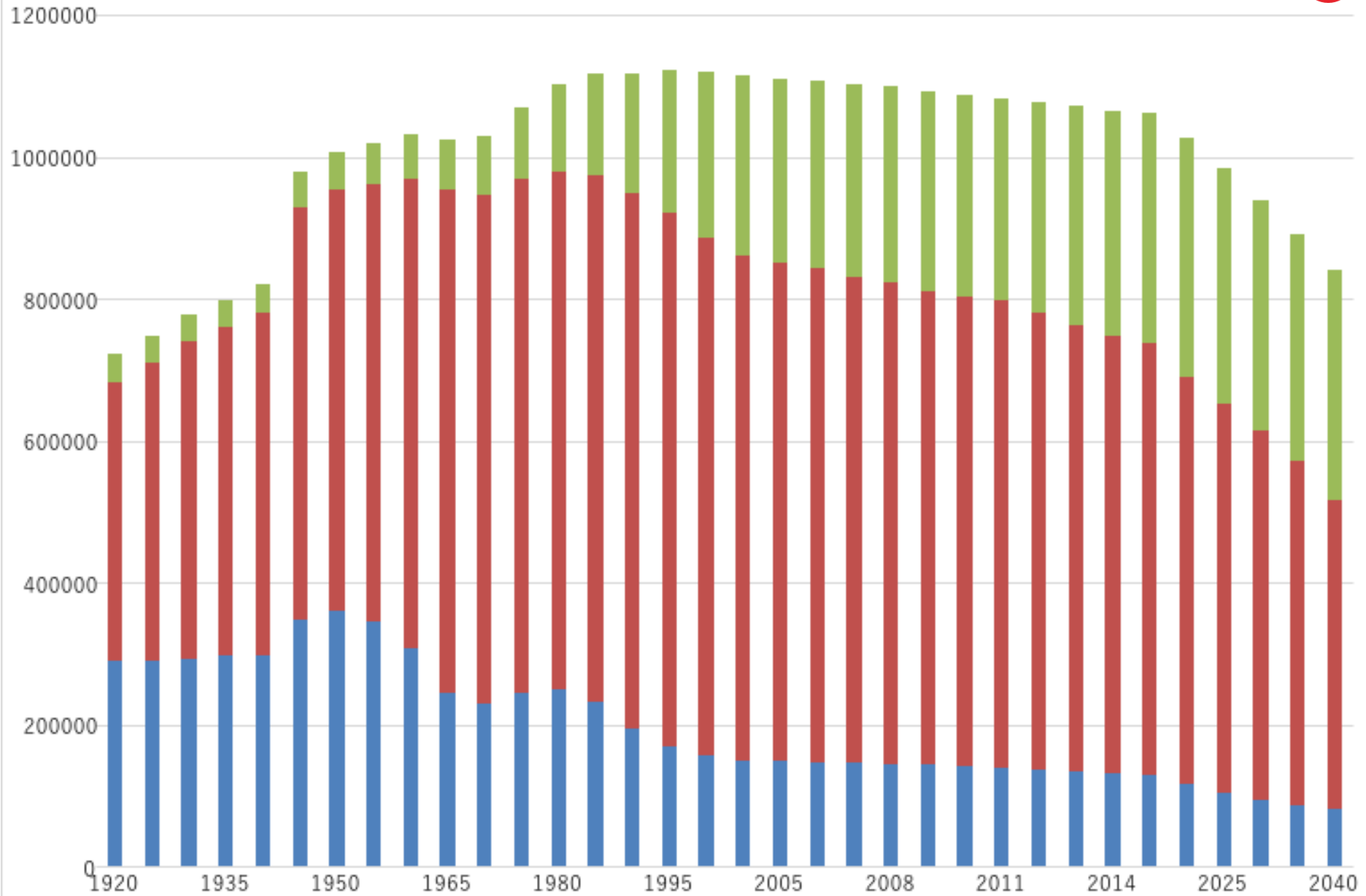
中央大学経済学部
阿部正浩

どうして「働き方改革」なのか？



- 長時間労働の撲滅
- 同一労働同一賃金の実現
- 最低賃金の引き上げ
- ワーク・ライフ・バランス
- ダイバーシティ
- …

富山県 人口の推移



出所:『国勢調査』、『富山県人口移動調査』、『将来人口推計』

今後の人口と国内総生産

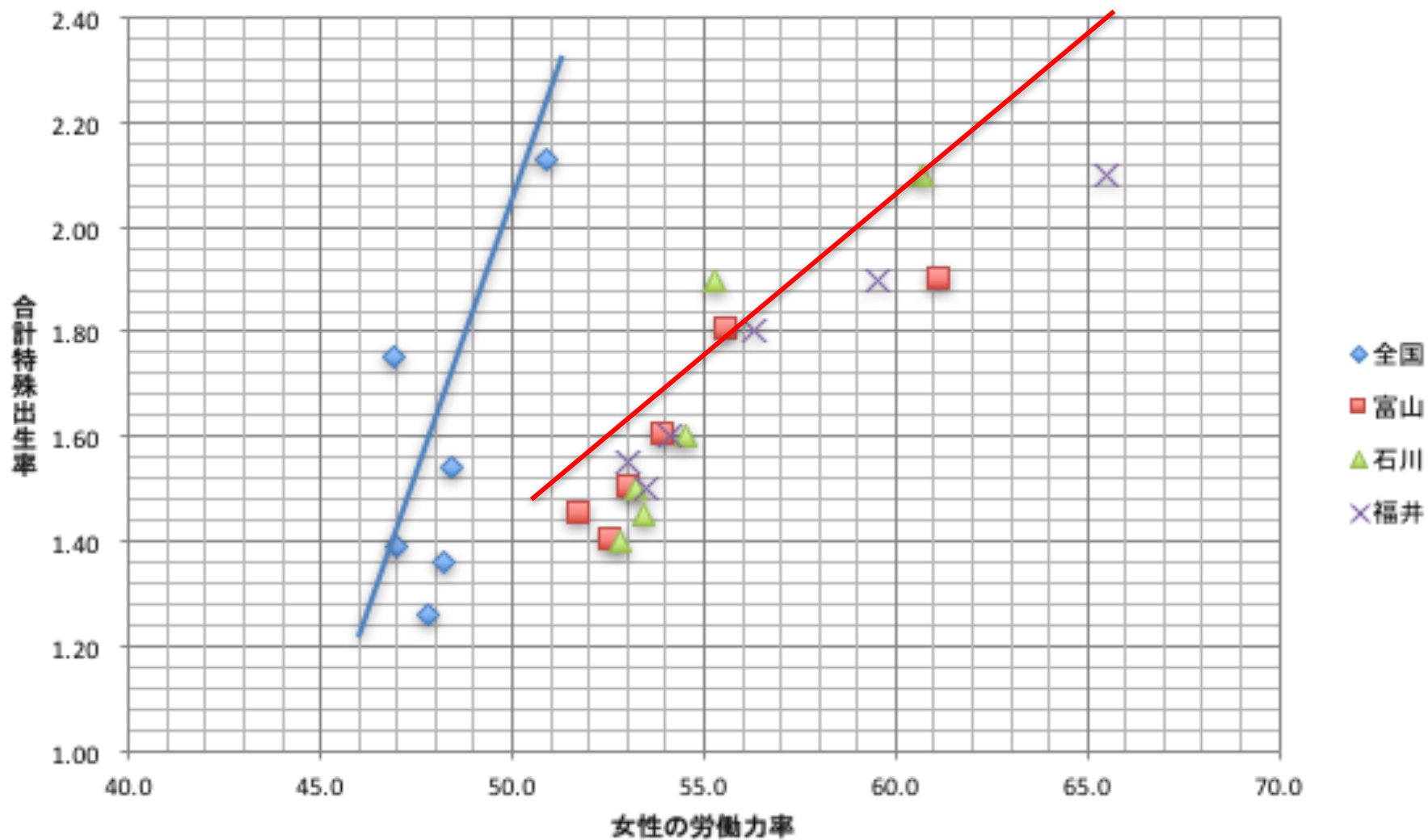
$$\begin{aligned} \text{GDP} &= \text{人口一人あたりGDP} \times \text{人口} \\ &= \text{就業者一人あたりGDP} \times \text{就業者数} \end{aligned}$$

			(万人)		(兆円)		(万円)
	(1) 総人口	(2) 生産年齢人口 (15~64歳)	(3) 就業者人口	就業率	(4) 国内総生産(GDP)	(5) 国民一人あたりGDP	(6) 就業者一人あたりGDP
						※(4)÷(1)	※(4)÷(3)
2014年	12,708	7,785	6531	83.9%	490	385.3	749.7
2050年	9,708	5,001	4989	99.8%	374	385.3	749.7

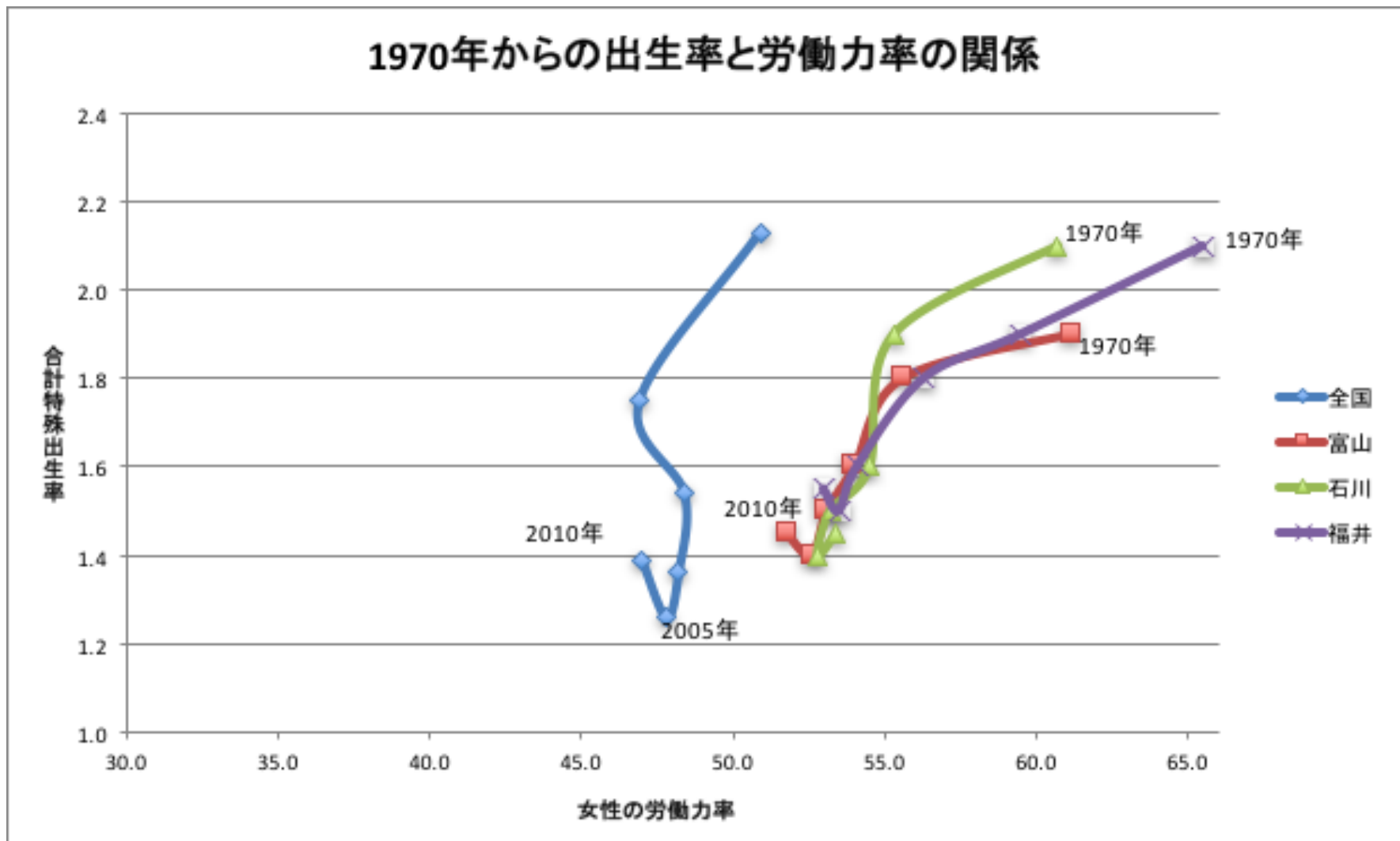
(注) 2050年の各数値は、国民一人あたりGDPおよび就業者一人あたりGDPが2010年と同じ水準にあるとして計算している。

- ・一人当たりの生産性を高めなければ、現在のような経済は持続不可能
- ・女性や65歳以上の高齢者を一層活用する必要⇒**ただし、限界も。**

出生力と労働力率の関係



1970年からの出生率と労働力率の関係



女性の労働力率は全国平均より高いとは言え、低下傾向。
また、女性の労働力率が低下すると同時に出生率も低下。

「働き方改革」と地方創生

- 地域の活力を高める。
 - 女性の活躍と高齢者の活躍に期待。
 - 柔軟な働き方(労働時間、働く場所など)が必要。
 - 『男性が働きやすい環境は、必ずしも女性や高齢者が働きやすいとは限らない。しかし、女性や高齢者が働きやすい環境では男性も働きやすい。』
 - ⇒ 働き方改革は、働く意欲があり能力のある人が適材適所で活躍出来るための前提
- 地域人口を増やす。
 - 良質な働く場、雇用創出が何より重要
 - 企業立地だけでなく、ベンチャー育成で開業率を上げる。
 - 学ぶ、思考する、行動する、そのための時間とバックアップが必要。

立場で異なる「働き方改革」

- 行政の立場
 - 少子化対策
 - 地方創生
 - …
- 企業の立場
 - 人手不足対策
 - 生産性向上
 - …
- 労働者の立場
 - 幸福やゆとり
 - …

立場によつて、目的が違ふ



どの立場を重視するかで、解決策は異なる